

平成 28 年度一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会 理事会/評議員総会議事録

理事会

日 時：2016 年 5 月 26 日（木）17:00～18:30

会 場：城山観光ホテル 4F ガレリア

評議員総会

日 時：2016 年 5 月 27 日（金）8:00～8:45

会 場：かごしま県民交流センター 2 階 中ホール(B 会場)

報告事項および議題

第 1 号議案： 役員人事

- 1) 理事・評議員の再任、退任、新任
- 2) 名誉会員、功労会員

第 2 号議案 学会活動

- 1) 日本皮膚悪性腫瘍学会の現況
- 2) 平成 26 年度事業報告
- 3) 平成 27 年度事業計画
- 4) 第 31 回学術大会について
- 5) 第 32 回学術大会について

第 3 号議案 各委員会報告

- i) 総務委員会－
- ii) 学術委員会－
- iii) 広報委員会－
- iv) 雑誌委員会－
- v) 連携委員会－
- vi) 会則委員会－
- vii) 財務委員会－
- viii) 倫理委員会－
- ix) 皮膚がん予後統計委員会－

第 4 号議案 ガイドライン改訂に関する指針(理事長)

第 5 号議案 会計報告と予算案(事務局、財務委員会)

- 1) 平成 26 年度会計報告と会計監査報告
- 2) 平成 27 年度予算案

第 6 号議案 会費滞納会員、住所不明会員について

第 7 号議案 その他(事務局報告)

理事会（理事 19 名）

出席：14 名 欠席 5 名（委任状：理事長 4、山本有平 1）

（他事務局：緒方 大/藤野典子、(株)臨床医薬研究協会：河合和信、税理士・会計士：長島清豪、司法書士：大澤 英之）

評議員総会（142 名）

出席：54 名 欠席：81 名（委任状：理事長 62、山本有平 1）

未回答：7 名

（他事務局：緒方 大/藤野典子、(株)臨床医薬研究協会：河合和信、税理士・会計士：長島清豪）

第 1 号議案： 役員人事（土田理事長）

1) 理事・評議員の再任、退任、新任

今年度は理事 2 名、評議員 4 名の推薦・申請書届け出があり、総務委員会による審議の結果、承認されたことを報告。今年度も「推薦時期は 1 月から 2 月末までとする。」という細則に基づき、期限以降に申請の申し出があった申請者に対しては申請書の受理を見送り、次年度以降に申請して頂く様をお願いした。

理事 2 名

候補者：加藤 則人、橋本 一郎

評議員 4 名

候補者：林 利彦、天野 正宏、名嘉眞 武国、古賀 弘志

理事候補者 2 名、評議員候補者 4 名が理事会/評議員総会にて新たな役員となることが承認された。

・理事評議員退任者

今年度 65 歳定年による退任者はいないが、再来年度定年を迎える予定の島田先生から 2 年早く退任される旨の申し出があり、承認された。

i) 理事

島田 眞路(退任)

ii) 評議員(9 名)

赤坂 俊英(定年)、上里 博(定年)、落合 豊子(定年)、藤原 作平(定年)、
松永 佳世子(定年)、宮本 秀明(定年)、向井 秀樹(定年)、村田 洋三(定年)、
山下 利春(定年)

2) 名誉会員、功労会員(敬称略)

i) 名誉会員

該当なし

ii) 功労会員候補者

功労会員候補者について、今年度評議員を退任される 9 名が資格条件を有しており、功労会員となっていただくことが承認された。

赤坂 俊英、上里 博、落合 豊子、藤原 作平、松永 佳世子、宮本 秀明、
向井 秀樹、村田 洋三、山下 利春

第 2 号議案 学会活動（事務局長 緒方）

1) 日本皮膚悪性腫瘍学会の現況

日本皮膚悪性腫瘍学会 2013 年度会員状況（平成 28 年 4 月 30 日現在）

1. 会員数

1)一般会員	皮膚科	1,113 名
	形成外科	139 名
	早大宗田研究室	9 名
	病理	6 名
	製薬会社	3 名
	その他（病院・医院・クリニック等）	119 名
	不明（自宅のみ）	18 名
小計		1,407 名
2)賛助会員	東レ(株)・マルホ(株)	2 社
3)名誉会員		19 名
4)功労会員		22 名
合計		1,450 名

2) 平成 27 年度事業報告

I、学術機関誌、学術図書の発行

1、Skin Cancer の発行(第 31 巻 1 号～3 号)

II、学術大会、研究会等の開催

1、学術大会の開催

第 31 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

会期：平成 27 年 7 月 3 日（金）・4 日（土）

会長：岡本裕之教授（関西医科大学皮膚科）

会場：大阪国際会議場

III、研究の症例及び研究業績の表彰

第 3 回日本皮膚悪性腫瘍学会賞の授与

IV、その他

・Skin Cancer 誌転載許諾申請 4 件(収入：1,172,751 円)

- ・会誌広告料 5件(収入：1,498,000円)
- 3) 平成28年度事業計画
- I、学術機関誌、学術図書が発行
 - 1、Skin Cancerの発行(第32巻1号～3号)
 - II、学術大会、研究会等の開催
 - 1、学術大会の開催
 - 第32回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会
 - 会期：平成28年5月27日(金)・28日(土)
 - 会長：金蔵拓郎教授(鹿児島大学皮膚科)
 - 会場：かごしま県民交流センター
 - III、研究の症例及び研究業績の表彰
 - 第4回日本皮膚悪性腫瘍学会賞の授与
 - IV、その他
 - ・Skin Cancer誌転載許諾申請
 - ・Japan Cancer Forum@日本橋セッション共催
- 4) 第32回学術大会について 金蔵拓郎教授(鹿児島大学皮膚科)よりご挨拶
- 5) 第33回学術大会について 真鍋求教授(秋田大学皮膚科・形成外科)より学会開催の案内がなされた。

第3号議案 各委員会報告

◇各委員会活動報告◇

i) 総務委員会 (土田委員長)

- ・熊本大地震への支援活動として、本学会から熊本大学皮膚科形成再建科へ100万円の寄付金を送ることが提案され、承認された。尚、費用は会誌刊行費の削減により発生した250万円程度の余剰金から捻出する。
- ・伊藤先生定年による欠員1名が出たため、会則に基づいた理事会での審議の結果、清原祥夫先生に就任していただくことに決定した。

ii) 学術委員会 (戸倉委員長)

- ・第4回日本皮膚悪性腫瘍学会賞選考について、今年度は7件の応募があり、学術委員会で審査、選考した結果「東北大学 藤村 卓先生」が第一位となったことが報告され、学会賞受賞者を藤村先生とすることが承認された。
- ・次々回の大会会長推薦選考について選考が行われ、第一候補者が熊本大学皮膚科尹先生、第2候補者が神戸大学皮膚科錦織先生であった。今回は熊本大震災の影響から尹先生への要請は見送り、錦織先生に要請することが報告され、承認された。これにより2019年度の学術大会は神戸で開催されることが決定した。

iii) 広報委員会 (清原委員長・事務局)

- ・ JSCS ニュースレターVol. 2 を発行し、学術大会プログラム集に同封の上会員へ配布したことが報告された。
- ・ 学会ホームページのリニューアル作業が完了したことが報告された。

iv) 雑誌委員会 (渡辺委員長)

- ・ 某大学病院図書館からの問い合わせについて雑誌委員会での会議が開催され、Skin Cancer の著作権については現行通り学会に帰属するものとし、学術大会プログラム抄録集については学会として著作権を規定しないことを確認したと報告された。
- ・ 日皮会事務局へ確認し、完全オンライン化以降も従来どおり Skin Cancer 誌は前実績として認められることを確認したと報告された。
- ・ Skin Cancer 投稿規定改正されたことが報告された。
- ・ 「皮膚付属器癌予後調査」について、昨年本会の倫理委員会で承認され、その後帝京大学の倫理委員会において承認済みであり、今年の秋から正式に開始予定であることが報告された。
- ・ 次期雑誌委員会委員長の選考について総務委員会に依頼があった。

v) 連携委員会 (山崎委員長・事務局)

- ・ 「外陰腫悪性黒色腫の調査研究」婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) との共同研究
特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) からの「外陰腫悪性黒色腫の調査研究」に関する調査協力要請があり、清原祥夫先生を代表者として、JSCS との共同研究とすることで協力していく方針に決定した。また今後担当者を選定し具体的な調査を進めて頂く旨が報告された。
- ・ 稀少がん対策ワーキンググループ四肢軟部腫瘍分科会に本学会の代表者として並川先生出席されたと報告された。
- ・ 日本がんサポーターシップケア学会アドバイザー就任依頼要請があり、土田理事長が就任したことが報告された。
- ・ キャンサーネットジャパンの作成するがん免疫冊子に本学会が後援を行うことが承認され、冊子体に本学会のロゴマークが掲載されたことが報告された。
- ・ Japan Cancer Forum @日本橋セッション共催依頼があり、本学会との共済事業として開催することに決定した。(演者は山崎先生、共済費用 10 万円を学会より捻出することも報告された。)

vi) 会則委員会

- ・ 「評議員および理事の資格要件に関する細則」、「評議員および理事の推薦に関する細則」に関する改定案が会則委員会より提出され、理事・評議員会にて承認されたことが報告された。

vii) 財務委員会

- ・ 平成 27 年度会計、28 年度予算案における収支確認が行われた問題なく運営されているこ

とが確認された。

また、今年度は年度会計終了直後に理事会・評議員総会が開催されることで十分な財務委員会での検討時間を確保することができなかったため、次回より年度会計(本学会の会計年度末は4月30日)が終わった時点で、理事会・評議員会前に会計士を含めた財務委員会会議を開催し、収支・予算案の確認を行うことが提案され、承認された。

viii) 倫理委員会 (山本先生・事務局)

- ・外陰腫悪性黒色腫の調査研究プロトコル審査を行ったことが報告された。

ix) 皮膚がん予後統計委員会 (岩月先生)

- ・悪性黒色腫、皮膚リンパ腫の予後統計調査が例年通り行われ、学会ホームページに掲載されていることが報告された。
- ・H27年度平田班 分科会 III 研究報告
平成27年度厚生労働科学研究費補助金「全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為に NCD 長期予後入力システムの構築に関する研究(平田班)」の代表者として次年度まで1年間岩月先生に留任していただくことが決定したと報告された。
- ・ガイドライン評価結果報告を受けたことが報告された。
- ・日癌治：第54回学術集会在がん診療 GL 委員会企画シンポジウムでガイドラインアウトカムに関する発表を菅谷誠先生にお願いすることが報告された。
- ・AYA世代のがん対策検討会に岩月先生が出席されたことが報告された。
- ・希少がん医療・支援のあり方に関する検討会に岩月先生が出席されたことが報告された。

第4号議案 ガイドライン改訂に関する指針(土田理事長)

今後のことを考えると、経費、マンパワーの面に関する懸念はあるが、ガイドライン関係を一括して扱う部署の設置は避けて通れないと判断し、下記3項目に関してガイドライン委員会を設置し作業を進めていく方針について承認が得られた。

- 1) 皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン改訂
- 2) メラノーマ薬物療法の手引き作成
- 3) NCCN ガイドライン日本語版の監訳

第5号議案 会計報告と予算案(事務局、財務委員会)

- 1) 平成26年度会計
- 2) 平成27年度予算案

について監査2名により問題なく運営されていることが確認されたと報告された。

第6号議案 会費滞納会員、住所不明会員について

本年度13名の会費3年分滞納者がおり除籍対象者であることが報告された

(小浦場 祥夫、笹岡 俊輔、佐藤 さおり、小川 晴子、磯貝 理恵子、畠山 真弓、川上 洋、小川 尊資、須藤 麻梨子、福永 真樹、穀内 康人、井上 和加子、清水 博子)

第7号議案 その他(事務局報告)

- ・会費自動引き落とし制度導入し、現在は約1400名の会員のうち700名程度まで自動引き落とし制に移行したことが報告された。
- ・HPリニューアルが完了し、これまで本学会の収入としていた雑誌広告掲載料は引き続きHP上の広告として募集を行っていることが報告された。
- ・清原理事より、本学会においても今後COI開示の規則を設け、学会員に周知していくことの必要性が提案された。